

St.Mary's College Campus Letter

MADONNA

聖マリア学院大学キャンパスレター〔マドンナ〕

特集

『瑞宝小綬章』受章の御礼

Vol.

24

2021.10



『瑞宝小綬章』受章の御礼



聖マリア学院大学名誉学長 矢野 正子

令和3年4月春の叙勲において、「国家又は公共に対し積年の功労ある者」として瑞宝小綬章が授与されました。身に余る光栄であり、聖マリア学院大学の皆様始め支えていただいた方々に感謝の思いでいっぱいです。思えば、当時の厚生省健康政策局看護課に在職していた時期（1984（昭和59）年6月～1993（平成5）年6月）に携わった仕事が評価されたものと思います。

私が看護行政の世界に入ったのは35年以上前です。直前までの13年間は、臨床で神経難病患者の看護に当り継続看護のシステム化や看護サマリーの分析などスタッフとの共同研究に力を入れていました。

看護課長に就任したのは昭和60年4月で、ちょうど第二次医療法改正を機に全国的な看護師不足問題が発生した時です。都道府県が病床規制を伴う地域医療計画の策定を進め、

駆け込み増床や看護師の引き抜き、陳情や労組デモの頻発、国会での質問攻めに遭いました。そのため国が中心となって策定してきた看護師確保対策が地方重視へ大転換され、平成4年に「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が制定され供給の安定策が進みました。

次の仕事は訪問看護制度の創設でした。昭和57年に制定された老人保健法を改正し老人の訪問看護が平成4年から始まりました。その後、平成6年に健康保険法を改正し全ての年齢の在宅療養者に訪問看護が提供されるようになりました。訪問看護は昭和62年に発表された厚生省看護制度検討会報告書で提起されたことに始まります。当時、厚生省は21世紀の高齢社会までとわずかと対策に追われていました。そこで報告書が目ざれ、予算を得て訪問看護師の育成や訪問看護モデル事業を全国展開する実施体制を整備し

ました。令和2年には、訪問看護ステーションは全国で12000か所以上、利用者は84万人以上になりました。

第3は看護系大学の増設です。報告書の「Ⅲ.看護制度の向上に向けて」の最初に書かれています。昭和27年に最初の看護系大学が誕生し、昭和62年まで35年間の新設数は11校、修士課程4校、博士課程1校でした。なかなか増加しないので、県立の看護大学の増設、国立大学医療技術短期大学部の4年制大学化などを、関係者の力をお借りして関係省庁に働きかけていただいた結果、令和3年には大学・学部等は277校・295課程に至ったのです。

以上、昭和から平成に移る時期を中心とした主な施策の概要です。令和の時代となり看護政策にはグローバルかつ多角的な視点からの展開が求められるでしょう。



1 歴代学長が集い、矢野名誉学長の受章に祝意を表しました。【(左)井手信学院長(初代学長)、(中央)矢野名誉学長(第2代学長)、(右)井手三郎学長(第3代学長)】 2 瑞宝小綬章 勲章 3 受章お披露目会の様子

Roy Adaptation International Conference

21st Annual Roy Adaptation- International Virtual Conference

日高艶子 聖マリア学院大学 学部長
Director Roy Academia Nursology Research Center



Roy Adaptation International Conferenceは、毎年6月にロサンゼルスかボストンで開催されていましたが、2020年はCOVID-19の感染拡大により中止となりました。

2021はRoy先生の強いご希望もあり、**Virtual Conference**の開催が決定致しました。**Conference**は、Roy Adaptation Associationの理事長Debra R. Hanna博士の下、**Roy Adaptation Model: Contributions to Authentic Nursing Knowledge**をテーマに開催されました。開催にあたっては、

Los Angeles, Birmingham, New York, Mexico City, Bogota, 日本, Beijing, 中国など参加者の国や都市の時間帯が調整され、4月16日、5月7日、6月3日・4日の4日間に亘る開催となりました。

聖マリア学院大学からは、Roy Academia Nursology Research Centerのメンバーであり、Roy Adaptation Associationのメンバーでもある筆者日高艶子と小浜さつき准教授、Eric Fortin教授、井手信学院長が出席し、5月7日(日本時間

5月8日(土)8:00~11:00)にWorkshop3を担当致しました。Workshop3のタイトルは、**Undergraduate nursing education based on the RAM at St.Mary'sCollege in Japan -How the RAM supports nurses' understanding of people who suffer from illness-**です。内容は、1.本学とRoy先生、本学とMount St. Mary's Universityの歴史、2.建学の精神に基づくRAMをベースにした本学のカリキュラム、3.本学におけるRAMの学修過程、4.RAMは、病気で苦しんでいる人々を学生が理解することをどのようにしてサポートしているかについてご紹介致しました。

参加者からは、「聖マリア学院大学ではカリキュラムの中で**Maturity**が重視され、学生の人格の成熟と看護実践者としての成熟をめざしていること、学生の成熟にRAMが活用できることが示されていることが素晴らしい!」「適応の状況を判断するための新たな示唆を得た」「聖マリア学院大学の学生は患者さんの自己概念、役割機能、相互依存に関心を持ち大変よくアセスメントできている」等、高い評価を受けました。Roy

先生からはカンファレンス後にメールが届きました。その1部を以下にご紹介致します。

You did a very good job with the presentation! Everyone was very happy to see your work. Your presentation helped with understanding the Roy Adaptation Model and its use in nursing education. I value our 30 year relationship to St. Mary's. Peace and blessings, Sr. Callista Roy, CSJ.

看護の対象である人間をキリスト教の人間観に基づき理解することを示すRoy適応看護モデルが本学のカリキュラムの概念枠組みに導入され30年が経過致しました。Roy先生がこの30年間を大事に思い、価値を置いてくださっていることに深く感謝致します。また、今回、30年間の成果を世界の看護学研究者、教育者の皆様にご紹介させて頂けたことにも感謝致します。

今後も学生の皆さんと共にRoy Adaptation Model: Contributions to Authentic Nursing Knowledgeの探求を継続していく所存です。



ヴァーチャルカンファレンスの様子



出席者:左から小浜さつき准教授、日高艶子学部長、井手信学院長、Eric Fortin教授

令和2年度学位授与式

感染防止対策を行い
開催した学位授与式

令和3年3月6日(土)、令和2年度学位授与式が挙行されました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため止む無く一部の出席者による縮小開催となりましたが、本年は開催場所を分散し消毒を徹底するなどの感染防止対策を行い、卒業生全員参加のかたちで実施することができました。



看護学部看護学科99名、専攻科助産学専攻14名、大学院看護学研究科3名が本学を旅立ち、新たなフィールドへと歩み出しました。

令和3年度入学式

規模を縮小して
開催した入学式

令和3年4月5日(月)、令和3年度入学式が挙行されました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため止む無く中止となりましたが、本年は席間の間隔を十分取り消毒を徹底するなどの感染防止対策を実施し、規模を縮小しながらも開催することができました。

本年度は、看護学部看護学科110名、専攻科助産学専攻10名、大学院看護学研究科2名の新生を迎えることができました。



令和2年度卒業(修了)生進路

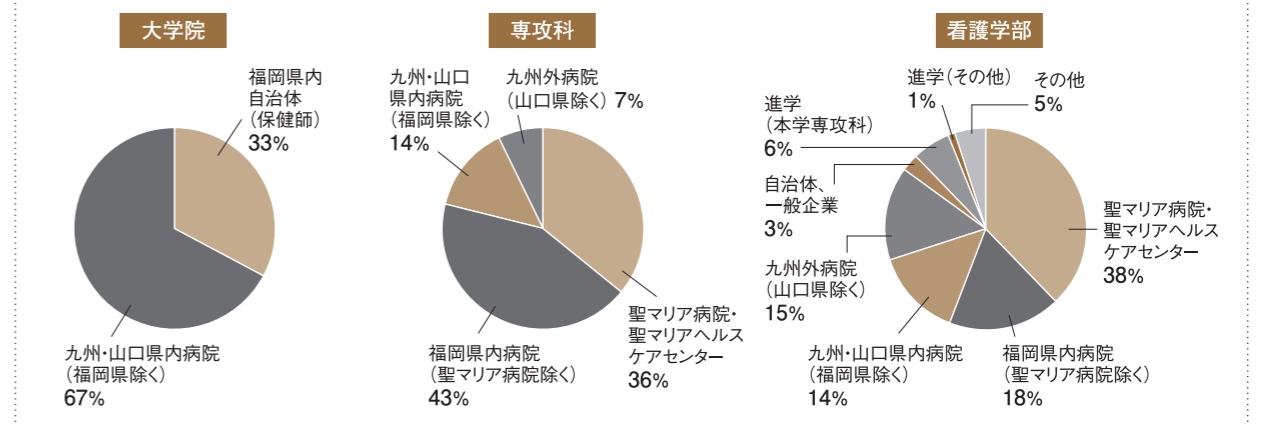
様々な場所で
活躍する
卒業生

令和2年度卒業(修了)生の進路はグラフのとおりとなっています。

看護学部看護学科の卒業生のうち38%が聖マリア病院グループへ、73%が九州内で就職しています(自治体、一般企業含む)。進学は7%で、そのほとんどは本学専攻科助産学専攻への進学でした。

専攻科助産学専攻の修了生のうち37%は聖マリア病院グループへ、残りの63%がその他の病院・クリニックへ就職しています。大学院の修了生は、社会人で入学された方がほとんどで、本学で研究を深め、元々所属していた事業所で活躍されています。

令和2年度卒業生進路割合



新入職員紹介

氏名 柳本 朋子
所属 図書館 司書
職位 准教授 (助産学・母性看護学領域)

助産師は産婦に寄り添い、見守り、尊い生命の誕生の瞬間に立ち会うことができます。その奇跡的で神秘的な生命誕生の過程を助産師を目指す学生さんと一緒に学びたいと思います。

氏名 橋口 ちどり
所属 図書館 司書
職位 教授 (在宅看護学領域)

令和3年度末まで聖マリア病院副看護部長(教育担当)として就業致しまして、今年度より本学の在宅看護学の教授として着任致しました。在宅看護は今後ますます期待される領域です。学生と共に様々なことを学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

氏名 伊藤 千敬
所属 図書館 司書
職位 准教授 (助産学・母性看護学領域)

学生時代には図書館学を学び、4月から図書館で働いています。学生さん、教職員・その他利用者の方の誰もが利用しやすい図書館になるように、日々勉強し、業務を頑張っています。好きな本のシリーズは米澤穂信の「古典部」シリーズです。皆さんもぜひ読んでみてください。

氏名 黒田 紗希
所属 事務部
職位 事務

業務一つ一つに真摯に取り組み、皆さんに貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

氏名 平野 真紀
所属 事務部
職位 事務

皆様に頼っていただけるような職員になれるよう、日々業務に努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

氏名 眞鍋 蓮
所属 事務部
職位 事務

学生だけでなく教職員も支え、円滑に業務が進みように尽力したいと思っています。

修学支援制度

特待奨学金制度
(新入生向け)が
大幅に拡充されます!

令和4年度の一般選抜を受験し、特待奨学生として採用された場合、必ず入学を確約できる者。

〔申請資格〕
令和4年度の一般選抜を受験し、特待奨学生として採用された場合、必ず入学を確約できる者。

〔採用候補者数〕
10名程度

〔給付金額・期間〕
給付金額：年間20万円
給付期間：4年間 計80万円

〔給付方法〕
後期授業料より減免

入学後の成績が優秀な場合は、在学生向けの特待奨学金と重複受給することができます(半期授業料相当額、または半期授業料相当額の半額:1年間)。

●1年次に優秀な学内成績を収めた場合(首席)の支給(免除)金額例:
20万円(新入生特待)+68万円(在学生特待)=88万円

※学校推薦型選抜等で合格し入学手続きを完了している場合は、一般選抜を受験しても対象とはなりません。 ※本奨学金を申請して合格した場合でも、一般選抜の得点状況によっては特待奨学生として採用されない場合があります。 ※特待奨学生に相応しくないと判断される事由が生じたときには、資格を喪失し、奨学金の返還を求められることがあります。

お問い合わせ先/聖マリア学院大学 入試事務室 TEL 0120-35-7271 (入試専用)

本学大学院に現役進学
する4年生の方への
奨学金を新設します!

〔支給資格〕
3年生までの必修科目GPAが3.0以上、もしくは卒業時までの必修科目GPAが3.0以上の者。

〔支給金額〕
年間授業料の半額

〔支給期間〕
修業年限(通常2年間)

学納金	区分	入学時納入金*	後期納入金	次年度以降納入金(年額)
本学出身者 通常	入学金	—	—	—
	授業料	425,000円	425,000円	850,000円
	施設設備費	100,000円	100,000円	200,000円
	合計	525,000円	525,000円	1,050,000円
奨学金 適用後	入学金	—	—	—
	授業料	425,000円	—	425,000円
	施設設備費	100,000円	100,000円	200,000円
	合計	525,000円	100,000円	625,000円

*本学出身者は入学金が免除となります。

お問い合わせ先/聖マリア学院大学 入試事務室 TEL 0942-35-7271 (代表)

皆様からのご支援、ありがとうございます

～寄付金受入のご報告と御礼～

聖マリア学院大学では公教育を担う看護大学として、広く皆様方からのご支援を頂きながら、大学の運営を行っております。これまで、図書館棟新築工事等の節目事業、また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への経済的支援事業等に際し、寄付金を有効に活用させていただきました。今後も、教育研究環境の一層の充実のため、引き続き皆様方のご支援をお願い申し上げますとともに、これまでのご厚情に対し、改めて感謝の意を表し、寄付者ご芳名を掲出させていただくものです。

<2008年(平成20年)3月～2021年(令和3年)5月 寄付受入分>



個人様 (敬称略、順不同 / 在学生ご家族、同窓生、役員、教職員他)

赤星由美子	浅野由美子	阿南良子	鮎川恵子	荒巻初子	有吉浩美	家入留美子	石井千代	石橋喜子
石本直子	石丸良恵	井手三郎	井手信	井原明美	井原伽奈子	入部久子	碓井知美	宇山由里子
浦美穂子	江口須賀子	江越美穂	大石利香	大楠綾子	大津山彩	大野千代美	大谷文女	小浜さつき
片山慶子	勝木志保子	加納由美	河上裕美	河口喜代美	川崎和子	河田淳子	川崎育子	川原洋子
川村千鶴	北川英治	木下まさみ	草野圭子	草柳美雪	櫛間睦子	神代明美	神代実穂	神代由利子
倉八ひとみ	栗山由美子	古賀ヒロミ	古賀由紀	古賀るみ子	後藤薫	小西逸代	近藤由紀	坂口由美
坂本由貴	佐野美和子	猿渡とも子	澤田美紀	重留万希子	志津志帆	柴戸美奈	柴崎祥子	柴田公子
下川一江	下川紀子	下宮夕香	城後鈴美	白土由美子	末吉良美	杉山秀彦	鈴木良子	世登亜貴奈
外本こずえ	高倉幸子	竹原明子	田崎美穂子	田中千恵美	田中道代	田中洋子	近末清美	尋木彦次
鶴田明美	東郷麻衣子	中川武子	中小田千鶴子	中島成子	中島千壽子	中島由希	長友奈央	中野秀子
中ノ森美知子	中山和道	永松雄一郎	中村京子	綿島悟子	西坂美佐	西村弘子	西山かおり	布村美江
野上幸子	野上裕子	野田利子	野田豊美	橋口ちどり	橋本ふさ代	橋本陽子	花田千秋	馬場絹代
馬場智子	濱崎佐智恵	浜崎ひと子	原田加代子	原田芳枝	原横しづか	日高艶子	平田和美	広下智絵
福永仁美	福元洋子	福山雅子	藤木万莉	本淨尋子	牧山幸二	前本武徳	松尾真美	松尾美香
松隈千代美	松原富士子	松村ひろの	松本昌子	溝口恵美	三河さやか	三苫香代子	養田ヒロミ	宮崎務
宮崎百合子	村岡健次	守涼子	森山百合子	安岡智美	柳本朋子	山内しげ子	山岸寿子	山下美幸
山田佐恵美	山田牧子	山口智恵子	山口文子	矢野正子	湯川武	吉富久美子	龍聖子	涌井幸江
渡邊千代子	令和2年度卒業生有志	同窓会有志	他・匿名					

個人様からの寄付金受入れ総額 **22,760,520円** (2008.3～2021.5累計)

法人様 (敬称略、順不同 / 地場企業、関係諸機関・団体等)

株式会社アド福岡	株式会社九州AV	株式会社九州神陵文庫	株式会社九州総合ユニフォーム
九州ビルサービス株式会社	廣告社株式会社福岡支社	秀栄建設株式会社	新生ビルメンテナンス株式会社
株式会社スギヤマ	第一警備保障株式会社久留米支社	株式会社筑邦銀行	戸田建設株式会社九州支店
株式会社成田美装センター	株式会社西日本企画サービス	日商保険コンサルティング株式会社	橋本事務機株式会社
福岡医療関連協業組合	富士ゼロックス福岡株式会社	社会医療法人雪の聖母会(聖マリア病院)	他・匿名

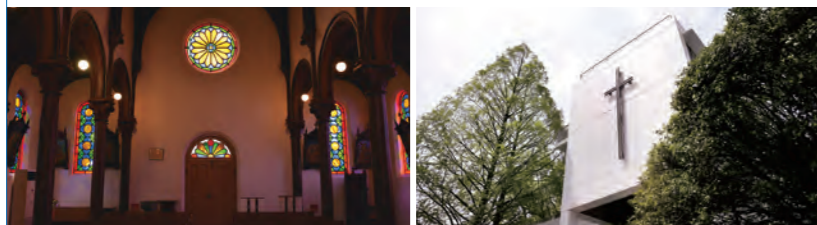
法人様からの寄付金受入れ総額 **21,550,000円** (2008.3～2021.5累計)

寄付金に関するご照会・お申込

聖マリア学院大学 募金事務局

〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422

TEL 0942-35-7271 (代表)



学校法人聖マリア学院 令和2年度決算



法令に基づき、大学等の設置者である学校法人は、当該事業年度における決算関係書類及び事業報告書を作成し、これを広く公開することが求められています。本学においては、理事会・評議員会での承認を経て、財務状況並びに事業報告に関する情報公開を、順次、ホームページに掲載することとしております。本誌では、誌面の都合上、財務状況の概要を掲出します。

学校法人聖マリア学院 令和2年度決算 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

「貸借対照表」の概要

科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	4,477,106	4,386,112	90,994
流動資産	2,101,244	2,146,268	△ 45,024
資産の部合計	6,578,350	6,532,380	45,970
負債の部			
固定負債	232,585	225,938	6,647
流動負債	184,917	183,887	1,030
負債の部合計	417,502	409,825	7,677
純資産の部			
基本金	6,444,163	6,434,633	9,530
第1号基本金	6,130,963	6,121,433	9,530
第2号基本金	140,000	140,000	0
第3号基本金	101,200	101,200	0
第4号基本金	72,000	72,000	0
繰越収支差額	△ 283,315	△ 312,078	28,763
純資産の部合計	6,160,848	6,122,555	38,293
負債及び純資産の部合計	6,578,350	6,532,380	45,970

「事業活動収支計算書」の概要

収入の部	支出の部		
科目	決算額	科目	決算額
教育活動収入	978,676	教育活動支出	949,804
教育活動外収入	5,555	教育活動外支出	0
特別収入	4,078	特別支出	212
		予備費	-----
事業活動収入	988,309	事業活動支出	950,016
		基本金組入前当年度収支差額	38,293
		基本金組入額合計	△ 9,530
		当年度収支差額	28,763
		前年度繰越収支差額	△ 312,078
		基本金取崩額	0
		翌年度繰越収支差額	△ 283,315

※作表上、端数調整箇所あり。 ※財務状況については、大学のホームページ(https://www.st-mary.ac.jp/disclosure/)でも公開中。

学校法人会計について

学校法人は、公益性をもった教育研究の実践主体として、学校の経営を行うことを、その目的としておりますので、一般企業のように営利を活動目的とする法人ではありません。よって、人材育成を含めた教育研究活動の成果を、社会に還元還元させる義務を負っています。

学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準(文部科学省令)により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

■資金収支計算書

前年度繰越支払資金2,117,148千円を合わせた収入は、3,134,635千円となり、諸々の支出を差し引き、翌年度繰越支払資金として、2,094,151千円を計上いたしました。

■事業活動収支計算書

事業活動収入計が、988,309千円、事業活動支出計が、950,016千円となり、単年度の収支(基本金組入前当年度収支差額)として、38,293千円となりました。基本金組入額(学校法人として、教育研究内容の将来の維持・充実に必要な資金を継続的に保持するための資金)として、9,530千円を計上し、結果、当年度収支差額として、28,763千円となりました。

■貸借対照表

資産の部は、特定資産等の増加により前年度比45,970千円増の、6,578,350千円となりました。また、負債の部は、前年度比7,677千円増の、417,502千円となりました。その結果、負債及び純資産の部合計が前年度比45,970千円増の6,578,350千円となっております。

「資金収支計算書」の概要

収入の部	支出の部		
科目	決算額	科目	決算額
学生納付金収入	762,643	人件費支出	539,249
手数料収入	10,843	教育研究経費支出	209,792
寄付金収入	49,307	管理経費支出	53,223
補助金収入	141,089	施設関係支出	0
付随事業・収益事業収入	5,013	設備関係支出	7,293
受取利息・配当金収入	5,555	資産運用支出	230,400
雑収入	10,653	その他の支出	32,877
前受金収入	124,545		
その他の収入	65,943	予備費	-----
資金収入調整勘定	△ 158,104	資金支出調整勘定	△ 32,350
前年度繰越支払資金	2,117,148	翌年度繰越支払資金	2,094,151
収入の部合計	3,134,635	支出の部合計	3,134,635

在学生、並びにご家族のみなさまへ

■ 教務課からの各種お知らせについて

在学生並びにご家族の方に対し、単位認定試験の結果(再試験対象となる科目の有無)、成績通知書等をお届けしております。学生の皆さんにとっては既に周知の内容もあるかと思いますが、ご家族の皆さまにとりましても、大学生活や学修に関する情報を共有するものとして活用いただければ幸いです。

■ 「保健師」国家試験受験について (保健師コースの履修について)

本学では、2012年度入学生より「選択制」となっております。保健師国家試験の受験資格を得るためには、看護学部卒業に必要な単位数に加え、3年次以降に開講される「公衆衛生看護学」に関する所定の科目の単位を修得する必要があります。保健師コース履修を希望する場合は、2年次後期に申込み手続きを行い、学内選考により履修者を決定します(学生の皆さんには選考試験の概要並びに選考日等詳細については既に説明を終えています)。なお、保健師コース履修には、課程履修費として、別途80,000円が必要になります(平成29年度履修者より適用)。

■ 大学での履修について

科目の履修に際しては、特定の科目については履修要件があることや(※)、上級学年に進級するための要件(進級要件)があること、卒業までに要する科目や単位数(卒業要件)が定められていることなど、予め知っておくべき重要な事項があります。これらは、年度始めに配布する「履修の手引き」に明記されていますので、学生の皆さんは、履修ガイドランスに参加することはもちろんですが、自ら履修に関する情報を収集し、把握するように努めることも必要です。なお、カリキュラム改正等に伴い、履修に関する諸規程も改正となることがあります。入学年度によって適用する規程が異なることがありますので、不明な点が生じた場合は教務課へお尋ねください。【※:基盤臨床系科目や各論実習科目を履修するためには、各々の科目の履修要件(例:科目Bを履修するためには科目Aの試験に合格していることが必要)などを満たす必要があります。】



本学の奨学金制度について

詳細につきましては学生課までお問い合わせください。

☎0942-50-0222

特待奨学金	子弟等奨学金
金額:50万円または20万円 返還義務:なし 採用人数:若干名	金額:入学金相当額の半額 返還義務:なし
緊急時奨学金	雪の聖母会聖マリア病院 聖マリア奨学金
金額:当該学期の学納金相当額を上限 返還義務なし 採用人数:若干名	金額:年間の授業料相当額を上限 返還義務:卒業時に一括返還※ 貸与期間:修業年間を上限 採用人数:若干名

※聖マリア病院へ就職した場合は、給与より返還

編集後記

ここ数年、日本全国、ひいては世界各地で異常気象・自然災害が多発している。本学の位置する九州でも毎年のように豪雨災害等に見舞われている。これらの災害により被害を受けた方には心からお見舞い申し上げます。

平成29年7月九州北部豪雨では、自身も他の教職員・学生と共に土砂撤去等のボランティア活動に参加した経験があり、現地の惨状に言葉を失った。その被災地では、自分たち以外にも被災された方々のため、全国各地から集まってきており、精力的に活動していた。また、ボランティア活動で来日していた韓国の学生も参加してくれたこともあった。困難な状況に直面している人々に対して、自分が何をできるか考え、実行している人々がいる状況を目の当たりにし、非常に感銘を受けたことを覚えている。

このような自然災害だけではなく、感染症、様々な差別、難民問題など、困難に直面している人は世界中に大勢いる。実際に自分ができることは小さいことかもしれないが、大切なのはそういった状況にある人のことを感じ、自分には何ができるか考える姿勢であると思う。そしてそれは自己の成長にも繋がっていくと思うから。

